

一 駐華指導要綱第一部長自ら起案セル
モノヲ第二部長軍事課軍務課ニ對シ
示シ意見ヲ求メタルガ如シ

二 佛印進駐交渉「アンクレー」ヲ相手トスルコト
ナク直接在佛加藤大使ヲシテ「アンクレー」ト
交渉セシムルコトトシ右大使ニ訓令ヲ發
電ス

十四日ヨリ交渉開始セラレハシ
外相電撃外交ニ氣合ヲカク

三 連絡懇談會ノ工作ヲ打切ルヘキヤ否ヤニ

就キ審議 交渉續行成ル可ク決裂ヲ延
期スニ勉ムルコトトナス

外相ハルノ「オーラル」ステートメントメシ日本ヲ屬國
視シアリトテ再ヒ憤慨ス

同席上平沼内相三國同盟ト心中スルガ國
家ノ爲萬全ノ策ニアラストテ非樞軸ノ言
ヲ漏ラセリ近衛ノ代辯ナランカ

四 軍令部次長參謀次長ニ對シ書類ヲ以テ
左記海軍ノ要望ヲ提示ス

一 物動陸海軍工場ノ区分ヲ變更セザルコト
二 陸軍動員ノ爲海軍工場ノ工員ヲ去ル

當セサルコト

三 防空ヲ一度ニカケルト刺戟スル

四 對北方海軍戰備ハ八月末ニアラサレハ完
成セズ

五 滿洲方面ハ陸軍戰備ノ充實ハ價
重ニヤラレ度

海軍側陸軍ノ對シ準備ニ敬為キタルカ
其要望ノアマリニモ露骨ナルニアキレタリ

一 澄田少將出頭俾印進駐ニ關スル省部トシ連絡
ヲナス

第一次俾印進駐ノ轍ヲ踏マサラントシテ連絡
ハ再到ヲ極ム

二 獨シ戰事大ナル進展ナシ從ツテ省部ハ平
靜ナリ此ノ所一段落ト云フヘシ

三 本日ハ動員第二日 市中應召者多ク輿論
漸ク騒然タルモノアルヘシ但シ言論及防謀
取締嚴重ヲ極メ表面ハ平靜ナリ